

9 月

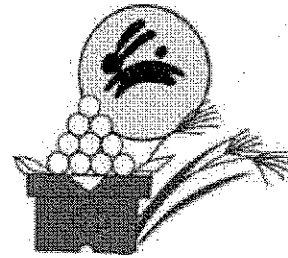
		生徒関係	
1	金	体験入学準備・係打合せ	
2	土	中学生体験入学会	
3	日		
4	月	振替休日	
5	火	早朝登校指導	
6	水	後期専門委員会	
7	木	九州合唱コンクール(1~3年合唱部終日 8日まで)	
8	金		国補
9	土		
10	日		
11	月	生徒会評議委員会	
12	火		
13	水		英補
14	木	第2回授業研究会(7限~、短縮、清掃カット) 定期演奏会練習(音楽科 5、6限)	
15	金		国補
16	土	マーク模試(3年希望者~17日まで) 日出町立図書館コンサート	
17	日		
18	月	敬老の日	
19	火	1年学年PTA(7限)	
20	水		英補
21	木	国立音大P公開レッスン(6・7限)	
22	金	前期専門委員会 P声特別レッスン(授業内)	
23	土	秋分の日 P声特別レッスン	
24	日	高文連音楽祭	
25	月		
26	火	生徒総会(6・7限)	
27	水	2年P中間テスト(授業内)	英補
28	木		
29	金		国補
30	土		

10月行事予定
10月3日(火)~5(木) 中間考査
10月19日(木) 音楽科定期演奏会

9月の行事と解説

いつもいたわりの気持ちで 敬老の日

9月の第三月曜日は「敬老の日」です。この前身になっているのは、昭和26年から祝われるようになった「年寄りの日」。これが昭和41年に「敬老の日」と改称され、国民の祝日のひとつとなりました。2002年までは9月15日でしたが、2003年から成人の日・体育の日と同様、移動祝日となりました。敬老の日には、お年寄りのいる家庭では、お年寄りを中心に祝い膳を囲んだり、贈り物をさしあげるなどするのが一般的な祝い方です。
老人への贈り物をするとき、一緒にねぎらいの気持ちを、金品で表現してあげたいものです



収穫を月に感謝する日 お月見

中国では陰暦の7月を初秋、8月を仲秋、9月を晩秋といい、それぞれの満月を観賞する風習がありました。中でも8月15日の満月を「中秋の名月」と呼び、1年中で一番美しく明るい月とされ、日本でも平安時代から、貴族の間で月をめで、供え物をして、詩歌を詠むようになりました。
ちょうどこの頃、農作物の収穫期の直前にあたることから、豊作を願う収穫祭の意味合いが強まってきました。月に対する信仰も強く、満ちては欠け、欠けては満ちる月を生命の根源と考え、たくさんの農作物を供えて豊作を祈願したようです。
秋の美しい月をいつまでもめでたいという気持ちから、十五夜の月を「待宵(まつよい)」、翌夜を「十六夜(いざよい)」、一夜ごと出の遅くなる月を待ちわびる意味で十七夜を「立待月(たちまちつき)」、十八夜を「臥待(ふしまち)月」、二十夜を「更待(ふけまち)月」と呼んでいます。

先祖を慕ひしのぶ日 秋分の日

秋分の日は、1948年に「先祖を尊び、亡くなった人をしのおぶ日」として法律で制定されました。
春の「ぼた餅」に対して、それよりも小ぶりな「おはぎ」を作り、先祖に供えます。またこの日は春分の日と同様、昼と夜の長さが等しくなる日で、この時期を境にして夏の暑さも終わりを告げ、秋が深まり始めます。